

9. 木船家文書と大庄屋の業務管理

長谷川 巴南

1. はじめに

木船家は、丹後国加佐郡（現舞鶴市）に所在した田辺藩領内の溝尻村に居住し、近世後期に大庄屋を勤め、代々「木船衛門」を称す。安政5年「高名寄帳」（木船家文書箱14-935）によると持高は53.212石であった。明治以降も区長や京都府農会議員などを勤める。木船家の職務経歴は、文化3年（1806）4月13日～同9年10月に木船惣衛門が大庄屋を務め退任後、溝尻村の庄屋となる。3年後の文化12年10月から再び大庄屋となり、天保3年（1832）11月まで勤める。その後、天保3年11月26日～安政2年（1855）7月9日に子息木船藤衛門が、安政2年7月9日～（慶應元年までか）にその子木船衛助が大庄屋を務め、3代にわたって大庄屋であった。

木船家文書は木船家の近世後期から近代にかけての文書で、京都府立丹後郷土史料館が所蔵、現在は舞鶴市郷土史料館において、舞鶴市・舞鶴地方史研究会に加え京都府立大学文化情報学研究室が共同で調査を進めている。木船家文書調査は2019年6月に開始し、現在は撮影と目録作成を進行中である。今年度の本史料の調査については、本書「舞鶴市木船家文書調査」に詳しい。本稿ではこの木船家文書の全体像を掴むため、文書の内部構造と大庄屋の文書管理の一端を紹介する。

2. 木船家文書の内容

木船家文書は19箱に分かれた状態で持ち込まれた。箱の状態と点数は、2023年2月時点で表1の通りである。箱11は調査中であり、正確な点数は不明であるが、現状8804点が確認できる。それぞれの箱のおおまかな内容も表1にまとめた。

木船家文書には近世～大正期の史料が含まれ、時代区分をすると、①大庄屋就任（文化3年）以前、②大庄屋就任期間、③明治以後となる。ほとんどの箱は近世と近代の史料が入り交じるか、近代以降の史料で構成されている。近世史料で構成される箱は箱4のみである。

また、それぞれの時期に庄屋・大庄屋や区長、府農会議員などの公的な役職に関連する史料以外に、④家政に関連する史料、⑤個人的な金銭貸借証文・状物、⑥文芸に関連する史料（囲碁・俳諧・絵葉書・生花・美術品など）、⑦占術に関連する史料（刊本・家相図・占術道具・暦・太真瓊教会関連史料など）、⑧学問に関連する史料（手習書・心学書など）、⑨近代以降の東舞鶴開発に関連する史料（事業契約書・絵図など）に編成できる。それぞれ、木船家や木船衛門を分析する際の手掛かりとなるキーワードとなる。

箱の内容はおおまかに、また重複するものもあるが「個人」、「家」、「公」の3つの性質に分けられる。これを箱内容の時代区分と合わせて考えると、いくつかの特徴が分かる。まず、内容のほとんどが近世史料で構成される箱4は、木船家の家史料として他の箱と差別化ができ

る点である。次に近世と近代にまたがる箱は、公的な史料を多く含んでいる点である。ここからは木船衛門が近世・近代を通じて公的役職を担い、その地位や特権性が維新时期前後で断絶せず、地域で一定の社会的権力を有していた可能性を指摘できるだろう。近世・近代の過渡期における木船衛門の職務の変遷や、大庄屋の業務・立場を捉え返す際にも注目できる点である。また、⑥趣味に関連する史料は、単純に個人の趣味として捉えるだけではなく、木船衛門が参加したコミュニティの広がりを伺う上で参考になる。

3. 大庄屋業務関連帳面について

木船家文書には、まとまった帳面類がいくつかあり、そのなかでも特筆できるものが、横帳の「当座日記覚帳」「当座帳」、横半帳の「御用諸事心覚帳」の3種の帳面である。これらは主に箱18にまとまっており（2冊分は箱7にある）、1年に1冊として天保3年～安政5年までの27年間、合計60冊の記録が含まれる。うち天保3年～天保15年は「当座帳」を除く2冊組で揃い、天保11年は「子之当座日記覚帳」の1冊のみで残る。弘化2年（1845）～嘉永7年（1854）は3冊組が揃う。また、安政2年以降は「当座帳」のみが残る。

横半帳の「御用諸事心覚帳」は、縦15cm横10cmほどの大きさであり、その筆致からも、常に携帯し使用していた可能性が高い。据置きの横帳とポータブルな横半帳の両方を活用していたと考えられ、業務形態の一端を伺える。

4. おわりに

文書数の膨大な木船家文書は、文書1点ずつの内容を正確に編成するには時間がかかるが、継続する調査の中で主要な構成要素の輪郭を抽出することができた。一方で近世文書に関してはさらなる構造分析が課題であり、引続き木船家文書の調査を進めていく。

表1 木船家文書の箱概要と内容

箱	箱の状態	点数(点)	内容	時代	性質
1		893	近世帳面・一紙、近代証文・書状	近世近代	公
2		99	近代冊子（農学・城丹蚕業講習所・趣味）・絵葉書	近代	個
3	小つづら	43	近世証文、近代冊子（農学・趣味）	近世近代	公・個
4	小つづら	29	近世横帳（家政）	近世	家
5	小つづら	133	近世横帳（大庄屋）・状・証文（金銭）、近代冊子（金銭）	近世近代	公
6	段ボール収納箱	287	写真、領収書、近代手紙	近代	個
7	段ボール収納箱	77	近世横帳（大庄屋、当座帳）・状物、近代冊子（農作）	近世近代	公
8	段ボール収納箱	89	近代典籍（趣味）、冊子（農学、新舞鶴）	近代	個
9	段ボール収納箱	589	近代絵葉書（趣味）、賞状、冊子（新舞鶴）	近代	個
10	家相図（札なし）	11	家相図	近代	個
11	木箱	75(仮)	近世横帳（大庄屋）・状物、近代冊子（書画・易学）	近世近代	公・個
12	木箱（四方形）	762	近代公的書類（任命）・証文（土地、金銭）、履歴書	近代	公・個
13	柳行李の分	2278	近世横帳（大庄屋）・状物、近代冊子・典籍、書状	近世近代	公
14	黒塗箱	1144	近世状物（願）・証文（金銭）・御札所、近代典籍（易学）	近世近代	公
15	書籍箱	228	典籍、状物、家相	近世近代	個
16	木箱（黒）	679	近代絵図・横帳・証文（金銭）・冊子（農学）・刊本（趣味）	近代	個
17	木箱	277	近代典籍（趣味、占術、農学）・借用証文・横帳（家政）	近代	個・家
18	コワレつづら	644	近世横帳・縦帳（大庄屋、当座帳）・書状、典籍（占術）	近世近代	公
19	段ボール収納箱	478	近世横帳（大庄屋）、近代書状、覚	近世近代	公

（1996年木船家文書概要調査の際のメモを参考に筆者作成）

編集後記

フィールド集報は、刊行当初より Adobe 社の InDesign を利用して組版作業を手作りでおこなっている。InDesign の取り扱いは、歴史学科文化遺産学コースのうち、考古・建築・地理の実習メニューに含まれ、本書の一部については、そうした実習のなかで学生が組んだものとなっている。

今年度のフィールド調査においても、各地で多くの方からのご理解とご協力を賜った。ここに改めてお礼申し上げる。歴史や文化遺産にかかる調査は一人では決して成しえないということを、今後も常に意識するように努めたい。(う)

京都府立大学文学部歴史学科

フィールド調査集報 第9号

編集・発行 京都府立大学文学部歴史学科

〒606-8522 京都市左京区下鴨半木町 1-5

発行日 2023年3月30日

印刷 株式会社 北斗プリント社

〒606-8540 京都市左京区下鴨高木町 38-2
